

ごあいさつ 新年を迎えて

社会福祉法人 放泉会

統括施設長 瓜坂恭子

東方に聳える三瓶の頂は、白くほんのりと雪化粧をしつとも穏やかな好天に恵まれて平成三十年が幕開け致しました。

今年の干支は戌年。大きなぬいぐるみのハスキー犬を相伴にして理事長共々、恒例の各施設



の御利用者の皆様に新年の御挨拶回りをさせて頂きました。

最後の訪問先は「グループホームさわらび」ちようどお節料理を囲んでお屠蘇で乾杯！

小さなポチ袋の「お年玉」も



お正月気分を盛り上げていました。その時、食堂のテレビは天皇后両陛下のお姿を放映していました。

国民と共に三十年「象徴天皇」 来春は御退位が決定され「平成」もあと一年四ヶ月で幕を閉じ新しい元号に改められます。

国民と共に歩んで来られた天皇后両陛下に私は大変失礼乍ら勝手な親近感を抱かせていただいています。

誠に私事ですが天皇后両陛下には御拝謁の機会を主人の關係で二回もいただきました。

初回は平成十九年五月。理事長瓜坂正之の叙勲の授与式です。皇居の豊明殿で行われました。宮内庁職員の御方から陛下が会場の豊明殿正面の左扉からお入りになられたら、頭を軽く下げる等々、礼を欠くことがない様な諸注意を受けました。

しばらくして私たちも陛下が御通過なさった心配がしましたので頭を上げましたら、既にお通りになられた数メートル先の車椅子の受賞者のところでお声がけをなさって居られました。

へうなりゆく車椅子の音きしる音

籠球場は声援に満つ

天皇陛下は長く障害者福祉の分野に心を寄せ、障害者スポーツの様子なども歌に詠まれている。

籠球はバスケットボールのこと。車椅子がぶつかり合い、きしむ音とコートの声援を詠んだ・・・

一月三日「山陰中央新報より抜粋」

次は、平成二十三年十月、秋の園遊会に御招待いただき「赤坂御苑」でした。紅葉がはじまった広大な庭園で宮内庁の吹奏楽団の

「里の秋」「もみじ」「ふる里」などなど演奏して迎えて下さっていましたが、急に国歌「君が代」の演奏にかわり、と同時に天皇陛下、皇后陛下、皇族の方々が御入場になられたのでした。

幸運なことに最前列でお迎えさせて頂きましたので、天皇陛下から「どこからいらしたのお仕事は？」「ハイ、鳥根県大田市で老人ホームを」（老人福祉といえは良かったと猛反省！）「良いお仕事ですね、これから高齢者が増えますからね」お傍の皇后陛下には、私の方から「今朝、新聞でお腰を痛めていらつしやると報道されていましたが?!」とお見舞い申し上げましたら、おしなやかな小さなお声で「大丈夫、心配してくれてありがとう」とお言葉頂きました。

テレビでお姿を拝見する毎に、当時を想い起し夢のような一瞬です。中央席では当年大活躍の女子サッカーの澤穂希選手（はまき）の健闘を讃えておられましたし、車椅子の御方にも優しく語りかけられていらつしやるお姿も印象的でした。

来年御退位、新元号へ。象徴としての務めを「全身全霊」で果たしてこられた両陛下は御高齢になられ「安息の日々をもてる計りしれぬ大きな安らぎ」を覚えられたと報じられていました。

過ぎし日に感激、感動、感謝、公私混同の内容記載を御容赦頂きたく存じます。

最後になりましたが昨年中の「社会福祉法人放泉会」の運営につきましては、深い御理解と温かい御支援を賜りまして心より厚くお礼申し上げます。

本年も変わらぬ御指導を宜しくお願い申し上げます。

ゆうイング16周年開苑記念日・12月1日

今年の開苑記念日は身内で、粛々と思っていました。・・・いえいえ盛大に華やかに執り行われました。安来節保存会の皆様が楽しく・チャイルドの皆さん組が可愛く・屋台が美味しく・地元ゆうゆう会の皆様が優しく見守って頂きながらの会が始まり、先ずは安来節保存会の皆様、ユニークで愛嬌のある表情、腰つきは九十歳とは思えないどじょうすくいの踊りでした。それを真似てこの伝統的な踊りを一瞬にして受け継いだのか、奇妙な腰つきながらたらいを手に踊りだした職員たち。その姿にチャイルドの子ども達も大喜び。後世に受け継がれる事間違いないと確信しました。最後のお礼の挨拶をされた利用者さんは以前、安来節保存会に在籍されていたと言う事で「声が出れば一緒に歌いたかった」と、昔を想い起こし感動されていました。安来節の後は、美味しい屋台の番で

教訓で気持ち新たに…

前々号で掲載した記事で紹介した、野畑地区の、まるで遊園地のような田んぼを覚えていらつしやいますか？その一角に最近新しいのぼりがお目見えしました。そこには、こう書かれています。【教訓はあの日のドッキリあのヒヤリ】三瓶さわらびに通勤する職員は、この教訓を、朝な夕なに見て、

す。綿菓子には、利用者さんには懐かしく大変喜ばれました。またお昼にはお祝い弁当、十六周年は大きな節目ではありませんが一日が、一年が、節目となり利用者さん、職員は大切に迎える事を再認識し、来年に繋がっていくお祝いの会となりました。



交通安全に対し気持ちを新たにキリッとしたのでした。松本登様ありがとうございます。



長久探検ウォーキングの皆さん！ いらつしやいませ！

空気が澄みきって少し肌を刺すような冷たい朝、のぼりを先頭に老若男女の五十五名の方達が瀬幣姫神社、慶福寺を探検され当苑に來られました。玄關で地元のむっちゃんガーデンのお花を鑑賞していると、二階からディサービスの利用者さんからの声援を受け、「エイエイオー！」の掛け声と共に、探検開始です。

先ず西側にまわり観音様に手を合わせる子供達、福朗ホールでの朝の会の礼拝の様子を見て、静かな時の流れを感じていただきました。次は、いなほ通



りからわらべ通りに続く長い廊下、お部屋から手を振られる利用者さんたちも、いつもとは違う雰囲気新鮮に感じ喜んでおられました。また職員の説明に、いつもは外から見るだけのゆうイングに「自分の家の様に過ごせるんですね」「思ったより広いですね」と感想をいただきました。わらべ側の紅葉も終えた中庭に進むと、わくわくドキドキが待っていました。それは季節の葉牡丹のプレゼント！ゲットされたお母さんたちは、子供たちより喜んでおられましたよ。あつという間の施設探検でしたが、初めての方もおられ、十七年目を迎えるもつと気軽に來ていただけるように、開放デーを設けなければいけないと反省させられました。お陰様で色々教えていただく事もあり、来客に福ありでした。

自然エネルギーで地域にも活力を！

去年の春頃より、さわらび苑に面している道路は車の往来が激しくなり、見慣れないプレハブも設置されました。どうやら地元の野畑地区に『太陽光発電所』が出来る計画が持ち上がったようです。

その事業面積は135,567㎡、総発電電力量は5,500kW、太陽光パネルは、なんと20,372枚とい

う壮大なスケールです。

同自治会への説明会が行われると「良いこと！良いこと！」と住民の方々は歓迎だった様子。

自然エネルギーを活用し未来に向けての開発が進み始めています。

多くの出入りがあることにより、地元が発展していくことを期待したいものです。

稲積さわらび庵

前号の「もえぎの里」でご紹介した稲積さわらび庵。整備が進みより一層快適な空間に変化しています。お茶室には、安全性を考え電気の風炉と炉を篤志家のご夫人が整備して下さいました。

設えの整ったお茶室では、お茶席が何度となく開かれています。その他にも、今の季節に嬉しい床暖房が整備された居間とダイニングキッチンでは、種々の会合や忘年会も開催されました。今春早々新年会やサロンも予定されています。心地よい空間で皆様をお迎えいたします。ご利用をお待ちしています。

問い合わせ先 TEL 0854-84-0101
ゆうイングさわらび



お正月

初めてのお正月を迎えました



家紋入りの大風呂敷を
のれんにリメイクしました

リビング



絵画や調度品など生活されていた頃のまま
使わせていただいています



寄贈者 稲積紀樹様からの年賀状です



茶室

稲積ファミリーをお迎えしてお茶会。
お点前は藤陵会 向田信子氏

雑物茶会

十月二十九日、ゆう
イングさわらびのご利
用者のお一人が、生家
に伝わる抹茶茶碗を携
え、大森町熊谷家住宅
で行われた雑物茶会に
参加されました。

付き添いの職員も所
蔵のお茶碗をお借りし
て、少々緊張気味に同
席いたしました。お茶会が始まってみると石見銀
山の歴史のお話や手作り料理のおもてなしで、気
軽でとても和やかな雰囲気です。

会が進み、いよいよお抹茶を頂くことに。頂く
のは自前の器ではなく、他の参加者の方が持参さ
れたもので、食卓で使っているお茶碗や、海外旅
行で気に入って買ったもの、もちろん家に伝
わる由緒あるもの等様々な器が集まっています。
当苑のご利用者様の器は偶然にもお向かいの
席につかれた、愛媛県からはるばる参加された方
に・・・そしてそのお連れの方の器がご利用者
様にと、偶然のご縁に驚き、喜びの中での記念撮
影をしました。

会も終盤持参したそれぞれの器がスクリーンに
映し出されエピソードの紹介とともに、独自に名
前がつけられました。愛媛から持参されたのは「花
の色はうつりにけりな」と小野小町が詠んだ和
歌が内側にかかれており、「小町」と命名され、
また利用者様のお茶碗は「大銀杏」と命名されま
した。

会の締めくくりはフルートとクラリネットの演
奏会。高尚且つゆったりとした時間を楽しむ会に
様々な方々のご縁を頂きました。



サンチャイルド

クリスマス会・誕生会

未就園のお友だちをお迎えして一緒にクリスマス会・誕生会を楽しみました。

エリーナ姫の素敵な歌声とゼナさんの英語版♪ジングルベルやトーンチャイム演奏などを聴いていると、サンタさんが登場！12月生まれのお友だちと一緒に祝いしてもらったり、クリスマスプレゼントをもらい大喜びの子どもたちでした！



お餅つき・交流会～長和会さんをお迎えして～

今年度の記念品として、保護者会より購入していただいた臼を使って、長和会の皆さんと一緒にさんさん組がお餅つきをしました。また、長和会さんと三歳児以上のクラスと一緒にゲーム等で楽しく交流した後は、つきたてのお餅を焼いて、お汁に入れて頂きました。「おいしい！」とたくさんおかわりをしていました。



第74回 全国老人福祉施設大会(福島大会)に参加して

11月に老協主催の福島大会に参加させて頂いたおりに、勉強とは別にもう一つ目的がありました。それは、平成23年3月11日に起きた東日本大震災の被災地(南相馬市)に行き、同じ日本人として、当時の被害状況や今現在の復興を現地で見て、自分自身どう感じるのか、また、これからの人生にどう影響するのかを知りたかったからです。

同僚と福島市からレンタカーで海沿いの南相馬市まで2時間。内陸部から海岸に近づくにつれて、6年経過しても壁や瓦が崩れ、傾きが見られる家や道路の復旧工事をしている件数が増え、南相馬市に入ると、その場所にあったはずの家が無くなり、田畑の荒れ地が増える状況を見て、同僚との会話が少なくなったことを覚えています。

海岸端につき、辺りを見渡すと家などの建物はなく、防波堤から30m離れた所に1本の松の木が見えたので、そこを目指しました。松を守る会の会長、副会長の方がおられ、この、【かしまの奇跡の1本松】の話しを聞かせて頂きました。

「この辺りは、2万本の松が並び、家や店があった賑やかな場所だったが、震災の津波の高さは松よりも高く30m位で、それが数キロ横に連なり押し寄せてきて、1本の松以外の建物は流され、多くの人も亡くなったとの事でした。この残った松は大地に根っこを張り、生き抜こうとしている姿ということで地域のシンボルにしていきたい。」と力強く言われました。残念ながら、松は寿命で近々、撤去される予定ですが、その松の松ぼっくりから、新たな松を育て、地域の復興で植樹される予定だそうです。

今回、被災地に行って感じたことは、今なお被災地の復興は続き、その時の身体や心が癒えていない方がおられます。また、TVで上空から撮影された津波と現地の地面から30mの津波の被害を生で感じたのでは、恐怖感や絶望感など全く違うものでした。少しでも、その地域、その人の立場に立って感じないと共感することができないと感じました。



池田地区文化祭

～SSB結成10周年記念コンサート～

当日は沢山の方に足を運んで頂き、SSBの記念公演に華を添えて頂きました。前半はこの日の為に猛練習した5曲を披露し、10年の感謝を込めて演奏させて頂きました。後半は地元の方々とのコラボレーションです。指揮者体験コーナーでは、指揮者により早くなったり遅くなったり個性的な指揮に思わず笑ってしまったり…。恒例の演歌メドレーでは地元の方が自慢の喉で歌い上げ会場も大いに盛り上がりしました。最後は池田小学校との共演で、お馴染みの校歌に会場はひとつとなりました。

池田小学校児童の皆様から思いがけず「感謝状」を贈呈され感激ひとしおでありました。

地域の皆様をはじめ、「福祉の風」と共に「音楽の風」「元気の風」をお届け出来るよう、これからも演奏活動を続けたいと団員一同決意を新たに致しました。

お寄せいただきました御厚意に感謝申し上げます。

11月12日池田地区文化祭にてSSB結成10周年記念コンサートが行われました。



ホームページリニューアルフェイスブック開設

放泉会のホームページリニューアルに向けて、現在、担当者は準備作業に奮闘中です。

ホームページリニューアルに先駆けFacebookは既に始動しています。

法人の身近な話題を少しでもお伝え出来るよう発信していきたいと思ひます。

皆さんぜひ「いいね」と「シェア」よろしくお願いします！



編集委員のつづき

今年は戌年、昨今のペットブームの犬ランキングを見てみると・・・1位、トイプードル・2位、チワワ・3位、MIX犬(体重10kg未満)、4位に柴犬が入っています。共通点は小さくて愛らしい、亡くなった飼い主の帰りを渋谷駅で約10年間、毎日待ち続けた忠犬ハチのような、御主人様に従順なイメージの犬を求めている現状が見えてきます。これも時代の流れなのでしょう・・・癒しを求める時代、豊かな時代だからこそ人の優しさ、温もり、形ある物だけではなく、温かい空間を皆求めているような気がします。今、地域全体の高齢化が進み施設は身近な場所で、楽しく温かいと感じる大きな癒しの通い場に成りつつあります。

また家族の立場で言えば「安心出来る場所」でなければいけません。温かさ安心を感じてもらう為にはそれを創りあげる私達職員が心豊かで健康でなければなりません。【働き方改革で見直そう みんなが輝く健康職場】言葉で言うのは簡単ですが、職員同志が思いやりの心を忘れず笑顔の職場、健康の職場である様、輝く一年でありますように謙虚の心を忘れずに努力していきたいと思ひます。それが、温かい空間を生み出し癒しの通い場に繋がると信じています。この一年が輝かしい年であります様にと願ひつつ・・・。

1月8日、平成9年生まれの若者が成人式を迎え未来を担って一歩を踏み出しました。変わりゆく時代の新旧のバランスを保っていければと思ひます。(山下照子、小川景、佐竹美香)